平成３１（２０１９）年度　熊本県立人吉高等学校　定時制　シラバス

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	３	開講学年	４年

学習概要 および 学習目標	【学習目標】英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。 【学習概要】情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように言語の使用場面を設定し言語活動を英語で行う。内容の展開、論点や根拠等の構成や図表との関連を考え読み書きすること、未知の語の意味を推測したり背景知識を活用し聞いたり読んだりすること、説明や描写を工夫して効果的に伝わるように話したり書いたりすることを行う。

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価欄
～１学期末	Lesson 1 疑問詞で始まる節 if で始まる節 Lesson 2 比較 Lesson 3 後置修飾	wh-疑問詞節を用いて簡単な表現ができた。 if 節を用いて簡単な表現ができた。 様々な比較表現を用いて適切に表現できた。 現在分詞と過去分詞を用いて後置修飾の正確な表現ができた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期中間	Lesson 4 知覚動詞 不定詞を目的語にとる動詞 Lesson 5 使役動詞 Wh-関係代名詞	知覚動詞を用いて簡単な表現ができた。 不定詞を目的語にとる動詞を用いて簡単な表現ができた。 使役動詞を用いた正確な表現ができた。 Wh-関係代名詞を用いて簡単な表現ができた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
２学期期末	Lesson 6 疑問詞+不定詞 Lesson 7 現在完了進行形 Lesson 8 部分否定	疑問詞+不定詞を用いて簡単な表現ができた。 現在完了進行形を用いて正確に表現できた。 部分否定を用いて正確に表現ができた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ
～３学期末	Lesson 8 助動詞+受身 Lesson 9 関係代名詞の非制限用法 受身の完了形 Lesson 10 過去完了形 強調構文	助動詞+受身を用いて簡単な表現ができた。 簡単な関係代名詞の非制限用法がわかった。 受身の完了形を用いて簡単な表現ができた。 過去完了形を用いて正確に表現ができた。 強調構文を用いて正確な表現ができた。	取組　ＡＢＣＤ 理解　ＡＢＣＤ 関心　ＡＢＣＤ

使用教材 参考図書	VISTA English Communication II New Edition 授業プリント プロジェクター 英和辞書
学習方法	授業プリントで単語や連語の意味を確認し、本文を和訳する。 登場人物の考え方を理解し、その心情やそれを指し示す根拠や理由を考察する。 題材に関連した地域社会や世界情勢を知り、考察を広く深く行う。 自分の考えやその理由を書いたり話し合ったりする。 自分以外の人の考えやその理由を聞き、要約をする。
評価方法	定期考査とスピーキングテストの点数、出席と提出の状況を総合的に判断する。 日常会話で使用される応答を確認する。 論説文や図表が意図する事柄の概要を読み取り、自分の意見を発表する。 新聞等の情報を構成を考えて読み取り、内容を説明したり、相手に意見を求めたりする。